

メールやSNSの使い方

1 私たちの体験

TikTokやYouTubeなどのコメント欄で悪口や過激な言葉が書かれているのを見て、自分に向けられていなくても嫌な気持ちがしてしまうことはないでしょうか。

ほかにもメールで「はてな(?)」や「びっくりマーク(!)」をつけ忘れて送ってしまって友だちと思い違いになってしまったということもよくあります。

2 提案のきっかけ

私たちが考えた提案のきっかけは2つあります。

1つ目は、子供から大人までの幅広い人に関係があり、わかりやすいという理由です。

2つ目は、最近スマホを持っている子どもの割合が増えているので最近の子どもたちにSNSの使い方を考え直してほしいと思ったという理由です。

3 解決したい課題

メールはどこでも連絡ができて便利ですが記号の付け間違いで思い違いになってしまうこともあり、傷ついてしまうこともあります。

SNSでもそうです。いつでもいろいろな連絡を知ることができ、今では子どもも使っているSNSですが、つい腹がたってしまい、過激な言葉によるトラブルが起ることもあります。なのでこの2つの課題を解決したいです。

4 提案

記号の付け間違いでの思い込みを防ぐには、スタンプや絵文字を使って感情をわかりやすくしたり、送信前に相手が傷つかないかどうか確認したりなど工夫してみるといいでしょう。

過激な言葉によるトラブルを防ぐには、これを投稿して傷つく人がいないか考えてから投稿し、相手のことを思いやってみるといいですね。

5 提案の効果

メールなどで文章や言葉の間違いがあったらそこからトラブルが発生するので、文章や言葉に間違いがないか確認することで相手も自分も傷つかずに楽しくメールをすることができるのです。

あなたはメールやSNSを適切に使えていますか？